

さらなる福祉向上を誓う

第6回八幡平市社会福祉大会を開催

10月30日、市総合福祉センターで、第6回市社会福祉大会(市社会福祉協議会主催)が開催されました。

大会には市内の福祉関係者など約150人が出席。社会福祉事業やボランティア活動に功労があった6人と2団体、市福祉健康標語の入賞者12人を表彰したほか、宮古市役所危機管理課の山崎正幸主査が「東日本大震災における避難者対応とその支援活動について」と題し講演。自らの経験を交えながら、災害ボランティアと被災者を結ぶ調整役の重要性などを語りました。



社会福祉事業やボランティア活動などに功労のあった皆さんや、福祉健康標語入賞者の皆さんに、表彰状と記念品が贈られました



日タイ文化交流会で、さんさ踊りを楽しみました(10月25日)

災害を気遣い交流深める

タイ国タマサート大学の学生が来訪

10月20日から30日まで、タイ国タマサート大学の学生15人が本市を訪れ、日本の生活文化を体験しました。この交流は、岩手山焼走り国際交流村の整備をきっかけとして、平成7年に旧西根町で始まったものです。記録的な水害が続くタイからの来訪となった今回、対面式では、引率のウィーラワン先生が、地下にある大学図書館の本を避難させたことなどを説明しました。一行は、日本の震災や故郷の水害を気遣いながら、寺院見学や学校訪問などの日程を元気にこなしました。

正しい知識身に付けよう

市生涯学習推進大会・文化講演会を開催

11月3日、西根地区市民センターで市生涯学習推進大会・文化講演会が開催されました。

今回の講演は、「今知りたい、放射能汚染の影響と対策」と題して開催。講師の及川浩さん(県立二戸病院副院長)は、「年間100^{mSv}シーベルト(mSv)では、ガンの過剰発生が見られないので、あまり心配はいらなと思います。1時間当たり空間線量率0.1マイクロシーベルトの場所に1カ月間続けた場合の放射線量は0.07mSvです」など、身近な例で説明しました。



「放射能とは放射線を出す能力のことです。自然界にも放射線は存在し、日本人は年間平均で約1.5mSvの放射線を浴びています」と語る及川さん

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

ぶらっと一日体験工房開催中！！

ただいま参加者募集中



体験内容等

豆乳手打ちうどん、手前みそ、ヨモギのがん月、塩麹&料理づくり(試食会)、手打ちそば、ミニ壺、漆絵付け(箸、皿) 体験料 1,500円~3,500円

要予約 ※一人でも体験できる日は11月20日(日)

担当 八幡平市商工会安代支所 Tel 0195-63-1001 Fax 0195-63-1011